

特開平6-98122

(43)公開日 平成6年(1994)4月8日

(51)IntCl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 1/21		2109-5C		
G 0 6 F 13/00	3 5 1 G	7368-5B		
H 0 4 L 12/54				
12/58				
	8732-5K		H 0 4 L 11/20	1 0 1 B

審査請求 未請求 請求項の数3(全 8 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願平4-243110

(22)出願日 平成4年(1992)9月11日

(71)出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72)発明者 荒川 忠

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ  
ノン株式会社内

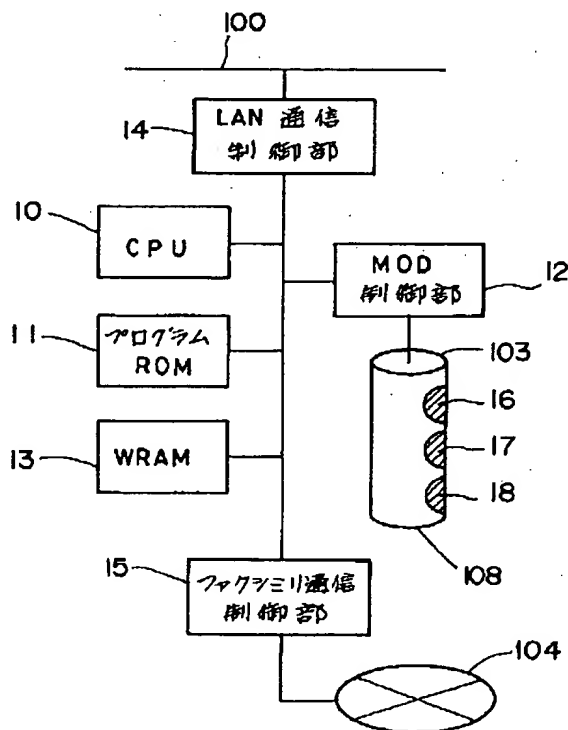
(74)代理人 弁理士 大塚 康徳 (外1名)

(54)【発明の名称】 画像蓄積装置

(57)【要約】

【目的】 利用者ID無指定の受信文書においても、受信文書内容を公開せずに受信者が受信文書全体を検索し、入手することを可能とするにある。

【構成】 接続通信網104より受信した受信情報をフアクシミリ画像蓄積装置のMOD108の当該受信情報中の利用者IDに対応したメールボックス領域に格納する機能を有する画像蓄積装置において、利用者ID無指定の受信文書を格納するメールボックス領域16と、該領域16に格納した受信文書の検索番号登録テーブル17を備え、CPU10は利用者ID無指定の受信文書の先頭ページに該検索番号登録テーブル検索番号を含む文書を上書きし、上書きされた先頭ページをLAN100に接続されたプリンタ装置より印刷出力する。そして、所定時間当該受信文書が引き出されない場合には、所定時間経過後に全文書を自動的に引き出しプリンタ装置より印刷出力させる。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 接続通信網より受信した受信情報を当該受信情報中の利用者IDに対応したメールボックス領域に格納する機能を有する画像蓄積装置において、利用者ID無指定の受信文書を格納するメールボックス領域と、該領域に格納した受信文書の検索番号登録テーブルと、前記利用者ID無指定の受信文書の先頭ページに該検索番号登録テーブル検索番号を含む文書を上書きする上書き手段と、該上書き手段により上書きされた先頭ページを印刷出力する出力手段とを備えることを特徴とする画像蓄積装置。

【請求項2】 前記検索番号登録テーブルは少なくとも蓄積期限管理手段を含み、該蓄積期限管理手段での蓄積期限経過後に該受信文書の全ページを印刷出力処理することを特徴とする請求項1記載の画像蓄積装置。

【請求項3】 上書き手段は定型フォーマット中の所定の部分を更新することによって上書き文書を生成することを特徴とする請求項1記載の画像蓄積装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は通信網、例えばローカルエリアネットワークに接続された画像蓄積装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】ローカルエリアネットワーク（以後「LAN」と称す）に接続されたワークステーション等の端末装置（以後「WS」と称す）にて作成した文書を、作成WSで紙へ印刷するという工程を経由しないで、WSが同一LAN上で共有するフアクシミリ画像蓄積装置に一旦蓄積し、該蓄積装置を経由して公衆通信網に接続された他のフアクシミリ端末へ送信するシステムが知られている。

【0003】該システムにおいては、接続WSで他WSよりのフアクシミリ画像データを受信する場合には、一旦フアクシミリ画像蓄積装置が送信すべき画像を受信し、該蓄積装置内に設置されているメールボックスへこの受信した画像を格納する。このメールボックスはLAN利用者毎に割り当てられており、送信端末は該蓄積装置が受信後に格納するメールボックスの指定を行う。そして、指定されたメールボックスへ格納された受信画像は、LAN上の該メールボックス利用者からの指示に従って、例えばLAN上の指定端末に配信する等の処理がなされる。

## 【0004】

【発明が解決しようとしている課題】しかし上記従来例では、格納するメールボックスの指定がなされない受信文書があつた場合には、誰もこの受信文書を見ない虞れを防ぐために、フアクシミリ画像蓄積装置のメールボッ

2

クスに格納せずに、例えば、LAN上のプリントサーバ等の印刷から無条件に印刷出力していた。

【0005】そのため、例えセキュリティが必要な重要文書でも即時公開されてしまうという問題があつた。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は上述の課題を解決することを目的として成されたもので、上述の課題を解決する一手段として以下の構成を備える。即ち、接続通信網より受信した受信情報を当該受信情報中の利用者IDに対応したメールボックス領域に格納する機能を有する画像蓄積装置において、利用者ID無指定の受信文書を格納するメールボックス領域と、該領域に格納した受信文書の検索番号登録テーブルと、利用者ID無指定の受信文書の先頭ページに該検索番号登録テーブル検索番号を含む文書を上書きする上書き手段と、該上書き手段により上書きされた先頭ページを印刷出力する出力手段とを備える。

## 【0007】

【作用】以上の構成において、ID無指定の受信文書の先頭ページに検索番号を上書きした後に、該上書きされた先頭ページを印刷出力処理する。これにより、利用者ID無指定の受信文書においても、受信文書内容を公開せずに受信者が受信文書全体を検索し、入手することを可能とする。

## 【0008】

【実施例】以下図面を参照して本発明に係る一実施例を詳細に説明する。図1は本発明に係る一実施例装置であるフアクシミリ画像蓄積装置103が接続された通信システムの構成を示す図である。図中、100はLAN、101、102はLAN100に接続された複数のWSであり、本実施例では2台の場合を示している。なお、このWSは2台以上であつてもよく、任意の台数接続した物であつてもよい。104は公衆通信網、105、106はフアクシミリ通信端末、107はWS101、102がLAN上で共有するプリンタ装置、108は光磁気ディスク等に代表される大容量外部記憶装置（以後「MOD」と称す）である。

【0009】図2は図1に示すフアクシミリ画像蓄積装置103の詳細ブロック構成図を示す。図2中、10はプログラムメモリROM11に内蔵された制御手順に従い装置全体の制御を行うCPUであり、主にメールボックスへのフアクシミリ受信文書の入出力管理を含むファイル管理を行つている。12はMOD108上のファイルへの読み書き動作をCPU10からの指示により実行するMOD制御部、13はCPU10が装置全体の制御を行う時に使用するワーク用のランダムアクセスメモリWRAM、14はLAN100上のWS101、102及びプリンタ装置107との間のデータ送受信を制御するLAN通信制御、15はフアクシミリ通信端末105、106との間で通信プロトコル及びフアクシミリデ

ータの授受を行うフアクシミリ通信制御部である。

【0010】MOD制御部12に接続されたMOD108には、フアクシミリ文書宛先指定の無い受信文書を格納するメールボックス領域16、メールボックス領域16に格納された受信文書の検索番号登録テーブル17、定型文書フォーマット格納領域18がある。図3に図2における検索番号登録テーブル17の詳細構成を示す。同図において、31はID指定の無いフアクシミリ受信文書の検索用に便宜上割り付ける検索番号であり、この番号は該文書のフアクシミリ名としても使用する。32は受信した日時情報であり、蓄積期限の管理手段として利用する。

【0011】図3において検索番号0001のファイルは3月5日10時28分に受信したことを示している。図4に定型文書フォーマット格納領域18に格納されている定型文書の一例を示す。定型文書は、検索番号を上書きする手段の一例であり、検索番号を記す領域が定型文書中にパラメータ領域として確保されている。そして定型文書を用いることにより、宛先指定IDの無いフアクシミリ受信文書の先頭ページであることが容易に判別可能となる。該定型文書フォーマットはメモリ節約のためにイメージデータのままで無く、圧縮されて格納されている。

【0012】図5に受信したフアクシミリ文書の先頭ページに図4の定型フォーマットを上書きした状態の一例を示している。以上の構成を備える本実施例の動作を、図6のフローチャートを参照して以下に詳細に説明する。フアクシミリ画像蓄積装置103は、ステップS1にてフアクシミリ受信の開始を監視している。そして、フアクシミリ受信を開始するとステップS2に進み、該受信画像を順次ワーク用にRAM13へ格納していく。受信が終了するとステップS3に進み、受信情報にIDが含まれるか否かを調べる。IDが含まれている時にはステップS15に進み、当該IDで指定されたメールボックスへの格納を行なう。

【0013】受信が終了するとステップS3にて受信先を指定するIDがあつたのか否かを判断する。ある場合はステップS15にて該IDで指定されたメールボックスへの格納処理を行い、ステップS1に戻って次の受信開始を持つ。一方、ステップS3で受信情報中にID指定が無い場合にはステップS4へ進み、該受信文書に検索番号を付し検索番号登録テーブル17へ登録する。続くステップS5で検索番号を付した受信文書をメールボックス領域16に格納する。その際、検索番号登録テーブル17へ登録した検索番号と同一番号をファイル名とする。

【0014】そしてステップS6でステップS5で格納した文書の先頭ページをWRAM13に複写し、WRAM13上にて圧縮データをビットマップデータへと展開する。次にステップS7で図4に示すの定型フォーマット

トを格納領域18カラーWRAM13に複写し、圧縮データをWRAM13上にてビットマップデータへと展開する。

【0015】そしてステップS8で受信文書のファイル名をWRAM13上でビットマップデータに変換し、該データをWRAM上にビットマップ展開されている前記定型フォーマットのパラメータ欄に埋め込む。そしてステップS9にて前記パラメータを埋め込まれた定型フォーマットをステップ6にてビットマップ展開された先頭ページ上に上書きする。

【0016】その後ステップS10で作成された先頭ページをLAN上のプリンタ装置107へと転送する。この先頭ページを受信したプリンタ装置107では、受信先頭ページをプリントアウトする。以上のプロセスによって、宛先指定の無い受信フアクシミリ文書は、検索番号登録テーブル17に登録された検索番号が表された先頭ページのみ印刷出力される。一般に先頭ページはカバーシート等の宛先指定文書で有るため、印刷出力文書を見れば誰宛の文章であるかが判別できる。

【0017】このため、この先頭ページを受け取る受信者は、該先頭ページのみでメールボックス領域16に、自己当ての受信文書があることが認識できる。更に、当該先頭ページ上の番号を利用してメールボックス領域16を検索することにより、フアクシミリ画像蓄積装置103内の膨大な蓄積文書の中から求める文書全文を、入手することが可能となる。

【0018】以上のプロセス処理にもかかわらず、メールボックス領域16に格納されている受信文書を引き出しにこない場合には、そのままでは受信文書が死蔵されることになってしまう。本実施例では、この受信文書が死蔵されてしまうことを防ぐために、さらにステップS11~14の処理が実行される。即ち、ステップS11にてプリンタ装置107へ先頭ページを転送した後、フアクシミリ画像蓄積装置107内に予め設定されている所定時間が経過するのを待つ。そして所定時間の経過を検出するとステップS12に進み、上述したステップS5で格納したメールボックス内に該先頭ページを演奏したIDの無いファイルが存在するか否かを確認する。当該ファイルが存在していない場合には該受信文書は宛先により印刷出力され、引き出されたとして図6に示す処理を終了する。

【0019】しかし、ステップS12で当該ファイルが存在している場合にはステップS13に進み、当該受信文書ファイルの全てをWRAM13へ転送し、圧縮データをビットマップデータに展開する。そしてステップS14にてプリンタ装置107へ転送する。この処理によって、受信文書全文が公開されたことになる。以上説明した様に本実施例によれば、宛先指定の無いフアクシミリ受信文書がある場合においても、文書内容を公開することなく、受信事実の通知が可能になる。またそれと

ともに、受信後に放置状態のまま、受信文書が死蔵される危険をも防げるファクシミリ画像蓄積装置が提供できる。

【0020】また、先頭ページに上書きする管理番号を定形文書中に埋め込むことにより、印刷出力された文書が宛先指定（ID）無しのファクシミリ受信文書で有ることが容易に判別可能となる。これにより、例えば、一般に、先頭ページにカバーシート等に代表される受信者名が記載されている様な場合には、受信文書内容を公開せずに受信者名を公開することができる。そして受信者本人は該先頭ページに上書きされた検索番号によつて、受信文書全体をファクシミリ画像蓄積装置から検索し、入手することが可能となる。

【0021】尚、本発明は、複数の機器から構成されるシステムに適用しても1つの機器から成る装置に適用しても良い。また、本発明は、システム或は装置にプログラムを供給することによつて達成される場合にも適用できることはいうまでもない。

【0022】

【発明の効果】以上説明した様に本発明によれば、宛先指定の無い受信情報に対して受信情報の具体的内容を公開することなく受信事実の通知が可能になる。そして受信者本人は該先頭ページに上書きされた検索番号によつて、受信文書全体を検索して入手することが可能となる。更に、受信後に放置状態のまま、受信文書が死蔵される危険をも防げる画像蓄積装置が提供できる。

【図3】

31 検索番号	32 受信日時
0001	03051028
0002	03051103
⋮	⋮

【図4】

これは宛先が指定されていない  
ファクシミリ受信文書の先頭ページです。

検索番号 0001

【図5】

TO ----- From -----  
 ATTN ----- Sender -----  
 TEL -----  
 RE -----

これは宛先が指定されていない  
ファクシミリ受信文書の先頭ページです。

検索番号 0001

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る一実施例の接続されたネットワークシステム構成図である。

【図2】本実施例のファクシミリ画像蓄積装置のプロック構成図である。

【図3】本実施例の受信文書検索登録テーブルの構成図である。

【図4】本実施例の定形文書フォーマットを表わす図である。

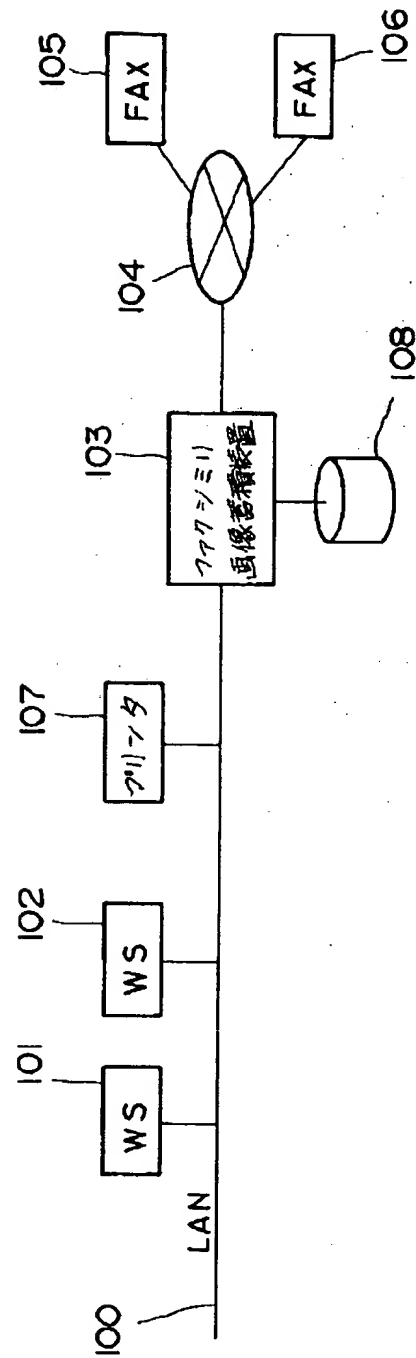
10 【図5】本実施例の定形文書が上書きされた先頭ページを表わす図である。

【図6】本実施例のファクシミリ画像蓄積装置の制御フローチャートである。

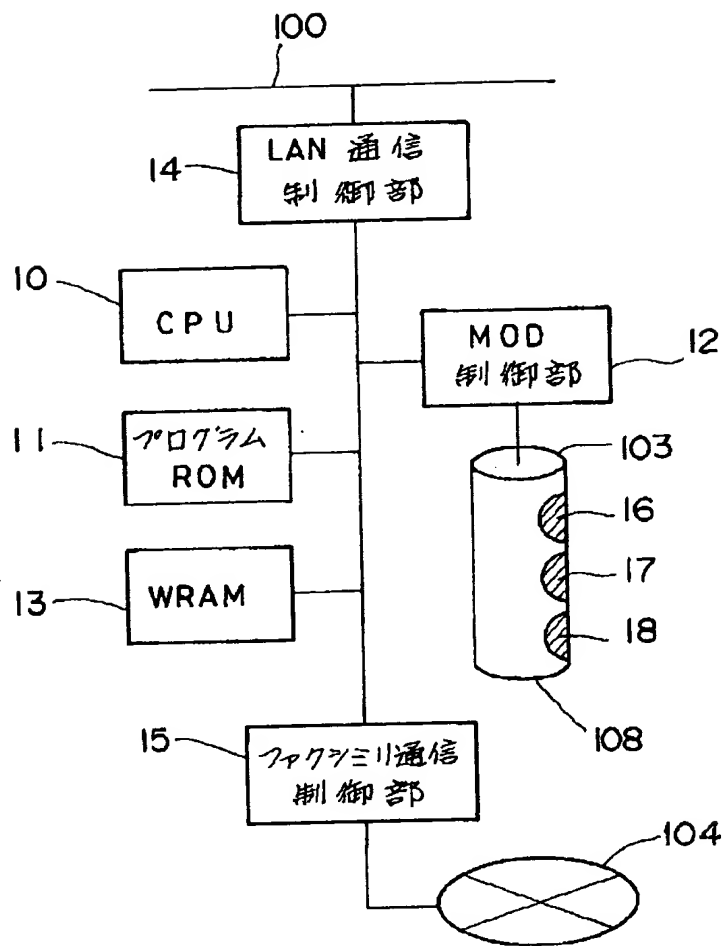
【符号の説明】

- 1 CPU
- 11 プログラムROM
- 12 MOD制御部
- 13 ワーク用RAM
- 14 LAN通信制御
- 20 100 LAN
- 101, 102 端末装置（WS）
- 103 ファクシミリ画像蓄積装置
- 104 公衆通信網
- 105, 106 ファクシミリ通信装置
- 108 外部記憶装置（MOD）

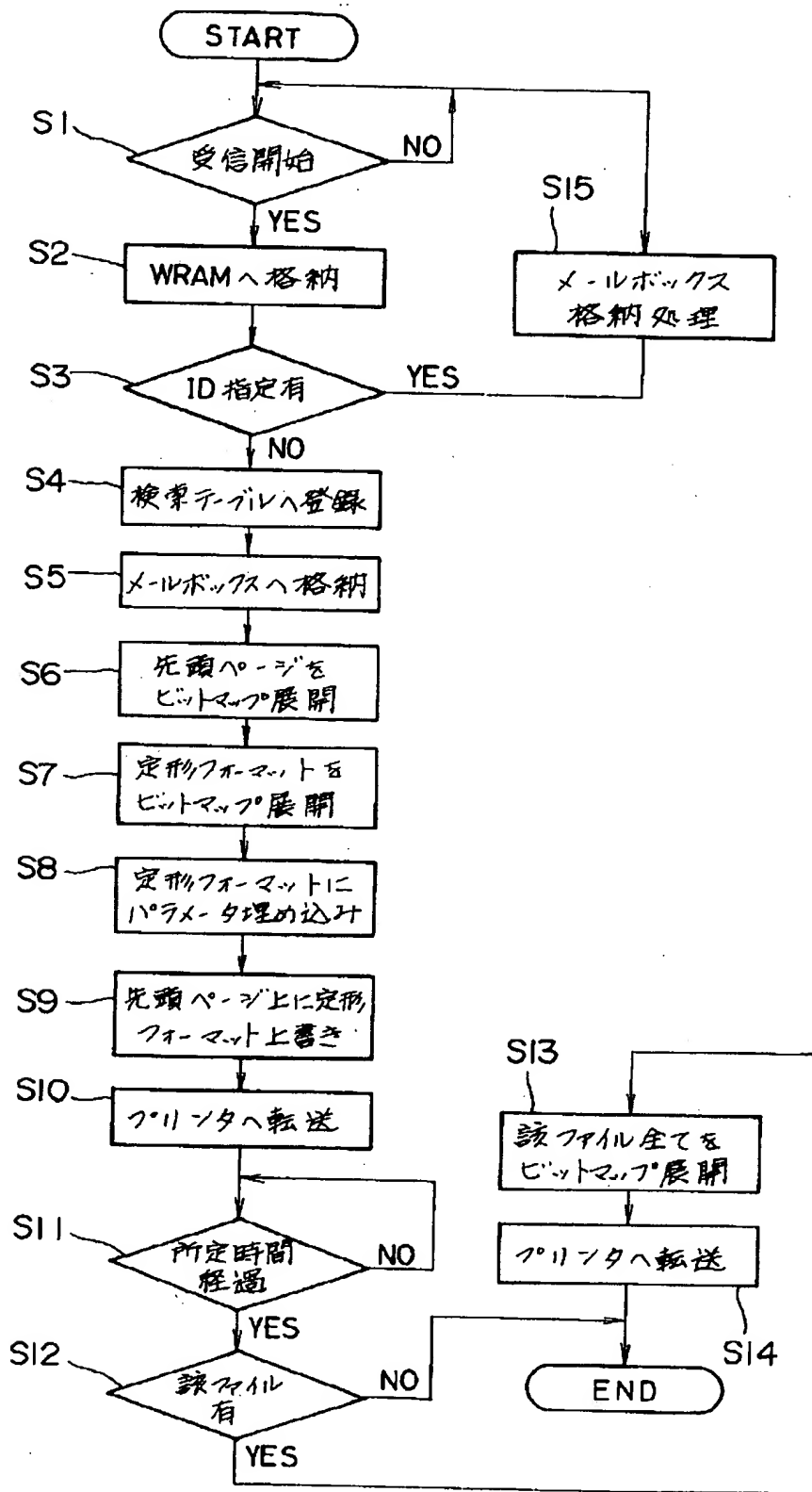
【図1】



【図2】



【図6】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.<sup>5</sup>

H 0 4 N 1/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

C 7046-5C